

質 疑 応 答 書

工事名 仙台市役所本庁舎整備第1期 建築工事

		整理番号	230510595
質 問 事 項		回 答	
配置予定技術者について、申請時は入札参加資格条件を満たす候補技術者を複数名候補とし、落札決定後に候補としていた配置予定技術者の中から一人を選任してもよろしいでしょうか。		設計図書等に関する質問ではないので回答できません。契約課にお尋ねください。	
(外部)			
図番-04・A-045・050・055 新增築特記仕様書-2の8章 ALCパネルの外壁用において、厚さが125・150mmの記入ですが、矩計図-1・6・11等ではt100・125の記入があり使い分けが判別出来ません。それぞれの厚さの使い分けをご指示下さい。		2F、RF階：t150 上記以外：t100 としてください。	
図番-05・A-002・055 屋根1-1・1-2・2~5の笠木の仕様が下記のように相違しています。仕様はアルミ既製品 W400電解2次着色(マット)と考えて宜しいでしょうか。 ■ 新增築特記仕様書-3 ……BB-1種アルマイトマット処理 ■ 外部仕上表……アルミ既製品 W300 ■ 矩計図-11(屋上-1) ……アルミ曲加工 W400		よろしいです。	

<p>図番 A-124・125 PH階平面詳細図-1・2の太陽光発電スペース下部メンテナンスデッキにおいて、床板用有孔鋼板外周部に手摺の記入がありません。不要と考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>よろしいです。</p>
<p>図番 A-056・347-5・S-111 PH1FL外周部の笠木の仕様が下記のように相違しています。矩計図-12(屋上-12)及びPHF伏図を正と考えて宜しいでしょうか。 ■矩計図-12(屋上-12)及びPHF伏図 ・・・プレキャストコンクリート+コンクリートスラブ ■PCa割付図-5(参考図)・・・全面PCa</p>	<p>A-347-5 PCa割付図-5(参考図)を正としてください。</p>
<p>図番 A-056・347-5・S-111 上記質疑を正とする場合、屋上笠木PC床の割付図をご指示下さい。</p>	<p>A-347-5 PCa割付図-5(参考図)を正としてください。</p>
<p>図番 A-013~016 中間免震階・1~3平面図平面図において、堅樋の位置及び本数及び径がそれぞれ相違しています。雨水排水経路図をご指示下さい。 (3階平面図(X7/Y3・8通り)の堅樋が2階平面図以下では記載が無く経路が不明等)</p>	<p>別添 1 を参照ください。</p>
<p>図番 A-198/D-19・20 一般部分詳細図-3のD-19・20の屋上ハト小屋詳細において、ハト小屋の仕上は下記のように考えて宜しいでしょうか。 ■外壁・天井・・・フッ素樹脂クリア塗装 ■ハト小屋内床・・・ウレタン塗膜防水</p>	<p>下記としてください。 ■外壁・・・フッ素樹脂クリア塗装 ■天井(屋根)・・・コンクリート直均の上、ウレタン塗膜防水 ■ハト小屋内床・・・ウレタン塗膜防水 ■ハト小屋内立上り</p>

<p>■ハト小屋内立上り ……ウレタン塗膜防水 H300</p> <p>■ハト小屋内壁……打放し素地 断熱材は不要</p> <p>■ハト小屋内天井……打放し素地 断熱材は不要</p>	<p>……ウレタン塗膜防水 H300</p> <p>■ハト小屋内壁……打放し素地</p> <p>■ハト小屋内天井……打放し素地</p> <p>※断熱材の有無は契約後別途協議といたします。</p>
<p>図番A-056 矩計図-12(屋上)のC・F部矩計図において、パラペット外側にC塗装と記入がありますが、凡例がございません。FCC塗装に読み替えて宜しいでしょうか。</p>	<p>よろしいです。</p>
<p>図番A-026~028・124 塔屋外壁の仕様が下記のように相違しています。PH階平面図平面図-1を正と考えて宜しいでしょうか。</p> <p>■立面図-2~4……凡例B ECP素地パネル FCC塗装</p> <p>■PH階平面図平面図-1……ALC板</p>	<p>A-029 立面図-5の①ALCフッ素樹脂塗装を正としてください。</p>
<p>図番A-056・122 R階平面図平面図-1のX1/Y1~4間の外壁の仕様が下記のように相違しています。矩計図-12を正と考えて宜しいでしょうか。</p> <p>■矩計図-12/E部(西面・Y3-4間) 矩計図……ALC t125</p> <p>■R階平面図平面図-1……ECP</p>	<p>ALC t150としてください。</p>
<p>(内部)</p>	
<p>図番A-002 B2階EVホール床タイルにおいて「内装床タイル2」とございますが仕様の凡例がございません。標準仕様・寸法等をご指示下さい。</p>	<p>A-529 地下鉄地下連絡通路計画図-1に記載の仕上特記事項を参照ください。</p>
<p>図番A-002 B2階EVホール壁タイルにおいて「内装壁タイル2」とございますが仕様の凡例がございません。標準仕様・寸法等をご指示下さい。</p>	<p>A-529 地下鉄地下連絡通路計画図-1に記載の仕上特記事項を参照ください。</p>

<p>図番A-002 B1階ELVホール巾木において、仕上表に「内装床タイル100」とございますが壁仕上「内装壁タイル」に読替えて宜しいでしょうか。地下鉄地下連絡通路共通</p>	<p>B1階ELVホール B1-1・2はSUS製H=60としてください。地下鉄地下連絡通路は質問のとおりでよろしいです。</p>
<p>図番A-003 1階風除室東・北 床御影石下地において、仕上表に「F3：コンクリート直均し下地」とございますが「F10：敷モルタルt35」に読み替えて宜しいでしょうか。</p>	<p>よろしいです。</p>
<p>図番A-003 1階風除室東・北他壁仕上において、[アルミパネル]がございしますが、仕様（板厚、表層仕上等）の図示がございません。仕様をご指示下さい。</p>	<p>A-002 外部仕上表・内部仕上表-1に記載の仕上材料名表示凡例を参照ください。</p>
<p>図番A-003 上記質疑に関連して、壁アルミパネルの下地の図示がございません。下地の仕様、詳細をご指示下さい。</p>	<p>A-092 1階平面詳細図-1を参照ください。</p>
<p>図番A-004・100 5階執務室5-2壁「内装石張り」において、平面詳細図に「LW1+M」とございますのでボード面に接着張りと考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>よろしいです。</p>
<p>図番A-001 仕上特記仕様書【A】天井仕様の注意事項において、「天井ふところ3000を越える場合は、図示による仕様又は鉄骨造ぶどう棚等より天井を吊る。」とございますが鉄骨造ぶどう棚の仕様の図示がございません。仕様、詳細をご指示下さい。</p>	<p>公共建築工事標準仕様書(国交省)14.4.4(8)の仕様によるつりボルト補強とし、水平補強は高さ方向に3.0mを超えない範囲で必要な段数を見込んでください。</p>

<p>図番-04・A-005・057~078 コア詳細図において、ELV廻りの間仕切の凡例が図面中に見当たりません。 新增築工事特記仕様書-2・内部仕上表よりALCと考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>よろしいです。</p>
<p>図番A-032~043・200/D-35 スラブ~天井の間仕切は防災計画図に記載の水色線 天井までの間仕切壁のみと考えて宜しいでしょうか。 ※ ただし、耐火間仕切、遮音間仕切、隣合う室の天井高が異なる場合はスラブ~スラブ</p>	<p>各階平面詳細図を正としてください。</p>
<p>図番A-032~043 防災計画図において、白抜き部分の間仕切はエレメント図-1 壁下地種別よりスラブ~スラブと考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>各階平面詳細図を正としてください。</p>
<p>図番-05・A-001 仕上特記仕様書において、間仕切壁 5.0m以上の部分には、主要構造部と同等の下がり壁等設けると記載がございますが、新增築工事特記仕様書-3 金属工事 軽量鉄骨壁下地(5m超)と相違しております。 新增築工事特記仕様書-3を正とし、軽量鉄骨下地(5m超:オクジュ- Tower Wall 1等)を設けると考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>よろしいです。</p>
<p>図番A-005・103 6-13F更衣室-1・2において、床仕上はビニル床シート(水廻り)とタイルカーペットとで使い分けがございますが、ビニル床シートとタイルカーペットの境目は一方枠がある開口部と考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>よろしいです。</p>
<p>図番A-002 セメント系塗床材において、仕上表床仕上に「防滑」と記載のある部屋と無い部屋がござい</p>	<p>いずれも防滑仕様としてください。</p>

<p>ます。図面通り使分けるものと考えて宜しいでしょうか。</p> <p>①セメント系塗床材(防滑) :B1階足洗スペース</p> <p>②セメント系塗床材:B1階洗車スペース</p>													
<p>図番A-004 床ビニール床シート C において、仕上床仕上で” (防滑)” と記載のある部屋、無い部屋がございますが全て防滑仕様と考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>よろしいです。</p>												
<p>図番A-005 5階応接室5-1壁「特殊左官材」の仕様(メーカー名・品番)をご指示下さい。</p>	<p>フッコー:FMX(フッツ)同等としてください。</p>												
<p>(建具)</p>													
<p>図番A-162~176 A-161-1~161-12 下記の建具において、建具表と建具案内図で数量が相違しております。建具案内図の数量を正と考えて宜しいでしょうか。</p> <table border="1" data-bbox="215 1803 774 1982"> <thead> <tr> <th>建具番号</th> <th>建具表</th> <th>建具案内図</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>SD-B1F-04 : 3</td> <td></td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>SD-B1F-04' : 2</td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>SD-3F-27 : 8</td> <td></td> <td>9</td> </tr> </tbody> </table>	建具番号	建具表	建具案内図	SD-B1F-04 : 3		4	SD-B1F-04' : 2		1	SD-3F-27 : 8		9	<p>下記としてください。</p> <p>SD-B1F-04 : 4 SD-B1F-04' : 1 SD-3F-27 : 8 SD-共05 : 15 SD-共17 : 46 SD-共18 : 168 SD-共18' : 4 SF-共01 : 16</p>
建具番号	建具表	建具案内図											
SD-B1F-04 : 3		4											
SD-B1F-04' : 2		1											
SD-3F-27 : 8		9											

<p>SD-共05 : 14 16 SD-共17 : 46 47 SD-共18 : 168 164 SD-共18' : 4 5 SF-共01 : 20 18 AW-1F-08 : 欠番 1 WD-5F-12 : 3 2 WD-5F-13 : 欠番 1</p>	<p>AW-1F-08 : 1 WD-5F-12 : 3 WD-5F-13 : 欠番</p>									
<p>上記質疑を正とする場合、欠番となっている建具の仕様(寸法・仕上等)をご指示下さい。</p>	<p>AW-1F-08の仕様は建具表を参照ください。</p>									
<p>図番A-027・028 A-161-6・169 4階・5階建具案内図においてAW-共15(西外壁面Y4-5間)とAW-共16(北外壁面X5-6間)の記載がございますが、建具表-8では欠番となっております。立面図に該当する建具が見当たらないため、AW-共15、16は不要と考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>よろしいです。</p>									
<p>図番A-161-11・175 以下の建具の数量が建具表-14と15階建具案内図で下記のように相違しております。</p> <table border="1" data-bbox="220 1659 778 1798"> <thead> <tr> <th>建具番号</th> <th>建具表</th> <th>建具案内図</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>SD-15F-12</td> <td>: 1</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>SD-15F-12'</td> <td>: 2</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>建具寸法より、建具案内図のSD-15F-12をSD-15F-12'、SD-15F-12'をSD-15F-12に読み替え</p>	建具番号	建具表	建具案内図	SD-15F-12	: 1	2	SD-15F-12'	: 2	1	<p>よろしいです。</p>
建具番号	建具表	建具案内図								
SD-15F-12	: 1	2								
SD-15F-12'	: 2	1								

<p>ると考えて宜しいでしょうか。 (読み替え後：建具表の数量と一致)</p>	
<p>図番A-162・177 SD-B1F-02'において、建具表での形式がくぐり戸付となっておりますが、姿図番号34はくぐり戸無しとなっております相違しております。姿図を正としSD-B1F-02'はくぐり戸無しの折り畳み防火戸と考える宜しいでしょうか。</p>	<p>よろしいです。</p>
<p>図番A-161-4 2階建具案内図において、下記の箇所に建具番号の記載が無い建具がございます。建具番号をご指示下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Y4/X1-2通り ・ X6/Y4通り ・ X1-Y6通り ・ X1-Y7通り ・ X2-Y9通り ・ X4-Y9通り 	<p>契約後別途協議いたします。</p>
<p>図番A-177 建具姿図-1の以下の姿図記号において、戸に取り付くガラス及びガラリ、ガラス+ガラリのH寸法は、姿図記号2・5・7に倣い、「H-200」「H/2-100(ガラス+ガラリ)」と考えて宜しいでしょうか。 ※姿図番号3、8、9、11、12、13共通</p>	<p>よろしいです。</p>
<p>図番A-168・177 LD-2F-10において、姿図記号が額入</p>	<p>A-166図 建具表-5を正としてください。 ※ガラスは不要になります。</p>

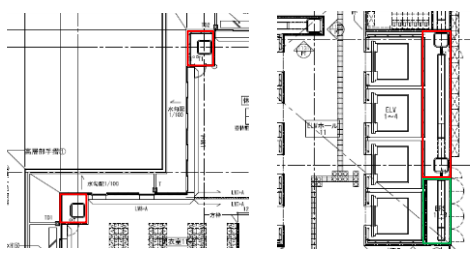
<p>りのハンガー戸となっておりますがガラス欄にガラスの指示がございません。LD-2F-08・11に倣いLD-2F-10は額入りとし、ガラス種類はF-4と考えて宜しいでしょうか。</p>	
<p>図番A-144・163 SW-1F-02・03において、建具表-2でH寸法が900となっておりますが、低層部展開図-1（執務室1-1）で該当する建具のH寸法が1300程度となっております。低層部展開図-1を正とし、SW-1F-02・03のH寸法は1300と考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>下記としてください。 SW 1F-02 : H900 SW 1F-03 : H1400</p>
<p>図番A-144・163 SW-1F-01において、建具表-2で寸法が「8300×1400・5700×1400・2700×1400」となっておりますが、低層部展開図-1（市民利用・情報発信C面）ではW寸法が7500程度となっております。低層部展開図-1を正とし、SW-1F-01の寸法はW7500程度×H1400と考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>A-163 図 建具表-2 を正とします。範囲はA-161-3 1階建具案内図を参照ください。</p>
<p>図番A-088・162・177 SSD-B1F-02において、建具表-1で寸法が「1465×2500・1825×</p>	<p>よろしいです。</p>

<p>2500」と記載がございますが、建具姿図-1ではW寸法が900・1800となっており相違しております。B1階平面詳細図-3より、建具表-1を正としSSD-B1F-02の寸法は「1465×2500・1825×2500」になると考えて宜しいでしょうか。</p>	
<p>図番A-166・181-3 SSD-2F-01において、建具表-5では寸法がW3850×H3500となっておりますが、建具姿図-8ではW1700×H2500程度となっております。建具姿図-8を正としSSD-2F-01の寸法はW1700×H2500程度と考えると宜しいでしょうか。</p>	<p>契約後別途協議といたします。</p>
<p>図番A-175 SD-15F-03の防音ガラスの厚さをご指示下さい。</p>	<p>防音合わせガラス t12+t8 としてください。</p>
<p>図番A-148-1・163 SD-1F-14において、建具表-2でW寸法が21400となっておりますが、低層部展開図-1（通路1-3 D面）では8400程度となっております。低層部展開図-1を正とし、SD-1F-14のW寸法は8400程度と考えると宜しいでしょうか。</p>	<p>建具表を正とし、契約後別途協議といたします。</p>
<p>(外部)</p>	
<p>図番A-002・045・047 屋根7・8のパラペット笠木において、外部仕上表でアルミ既製品W300、矩計図-1・3ではアルミ笠木の記入がありません。</p>	<p>よろしいです。</p>

<p>屋根 7・8 のパラペット天端は塗膜防水のみと考えると宜しいでしょうか。</p>	
<p>図番 A-002・045・047・196 屋根 7・8 の立上乾式保護板において、一般部分詳細図-1 で乾式保護板付、矩計図-1・3 では乾式保護板の記入がありません。屋根 7・8 の乾式保護板は不要と考えると宜しいでしょうか。</p>	<p>A-196 一般部分詳細図-1 を正としてください。</p>
<p>図番 A-002・081 屋根 11 の防水が外部仕上表で露出断熱防水 (D I-1)、低層部コア詳細図-3 では超速硬化型塗膜防水で相違しています。超速硬化型塗膜防水を正と考えると宜しいでしょうか。</p>	<p>よろしいです。</p>
<p>図番 A-002・081 上記質疑に関連して、屋根 11 のドレイン径、排水経路をご指示下さい。</p>	<p>契約後別途協議といたします。</p>
<p>図番 A-002・080・081 外部仕上表において、屋根 11 にタラップの記入がありますが、低層部コア詳細図-2・3 ではタラップが見当たりません。タラップが必要な場合は取付位置をご指示下さい。</p>	<p>外部仕上表の記載が誤記になります。 A-080 低層部コア詳細図-2、A-081 低層部コア詳細図-3 のタラップを参照ください。</p>
<p>図番 A-002・099 外部仕上表の (排煙スペース) 04F において、ルーフドレン・OF 管の記入がありますが、4 階平面詳細図-2 の排煙スペースには記入がありません。ルーフドレンと OF 管の取付位置及び樋の径・排水経路をご指示下さい。</p>	<p>契約後別途協議といたします。</p>
<p>図番 A-002 目隠しフェンス下地鉄骨の詳細をご指示下</p>	<p>A-002 外部仕上表・内部仕上表-1 の目隠しフェンスは誤記になります。</p>

さい。	
<p>図番A-049 矩計図-5(3階)の3F E部矩計図(南面・X6-7間)において、屋根超速硬化ウレタン塗膜防水の断熱材の厚さがt100と記入がありますが、矩計図ではt50程度で相違しています。t50に読み替えて宜しいでしょうか。</p>	よろしいです。
<p>図番A-015・016 3階平面図の室外機置場(X1-4/Y1-3間)において、ルーフドレンがRD2(100φ)の記入ですが、2階平面図ではTD1(165φ)の記入で径が相違しています。図面通りと考えて宜しいでしょうか。</p>	よろしいです。
<p>図番A-025~028 立面図-1~4の凡例において、避雷金物は電気設備工事と考えて宜しいでしょうか。</p>	よろしいです。
<p>図番A-100・101・347-2 5階バルコニーの手摺③の範囲が5階平面詳細図-1・2とPCa割付図-2(参考図)の5階PC床版平面割付図で相違しています。5階平面詳細図-1・2を正と考えて宜しいでしょうか。</p>	よろしいです。
<p>図番A-100・101・347-2 上記質疑を正とする場合、5階PC床版平面割付図をご指示下さい。</p>	A-347-2PCa割付図-2(参考図)を参照ください。
<p>図番A-002・208 柱型アルミパネルの厚さが外部仕上表でt=2.5、一般部分詳細図-13ではt=3.</p>	よろしいです。

<p>0で相違しています。 アルミカットパネル、t=3.0を正と考えて宜しいでしょうか。</p>	
<p>図番A-093・208 柱型アルミパネルの点検扉において、一般部分詳細図-13に記入がありますが、低層棟1階平面詳細図-2に記入のあるアルミパネル柱(1200角×8、800角×3)は全て点検口が必要と考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>A-093 1階平面詳細図-2のアルミパネル柱(1200角×8、800角×3)に点検口は不要になります。建具案内図を参照ください。</p>
<p>図番A-093・208 上記質疑に関連して、一般部分詳細図-13で点検口の高さがH2100ですが、W寸法が読み取れません。800・1200角それぞれの点検口のW寸法をご指示下さい。</p>	<p>A-168 建具表-7を参照ください。</p>
<p>図A-002・095 2階平面詳細図-2において、屋外デッキ2-4・2-5の排水溝W100の範囲及び排水経路が読み取れません。ご指示下さい。</p>	<p>契約後別途協議といたします。</p>
<p>(内部)</p>	
<p>図番A-002・092~117 下図において、各階平面図・平面詳細図等に部屋名の無いデットスペース(赤枠部)は仕上無しと考えて宜しいでしょうか。 ※PS・EPS等部屋名のある部屋(緑枠部)は仕上表より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・床：防塵塗装 ・壁：石膏ボード素地 ・天井表し(直天) 	<p>よろしいです。</p>

	
<p>図番A-007・128・S-110 14階通路14-8において、仕上表床仕上に「OAフロア(H100)一部」とございますが議場断面詳細図(H250)と相違しています。構造床伏図よりFL-250(白抜部)とございますのでOAフロアはH250と考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>鋼製床H250となります。</p>
<p>図番A-007・128・S-110 上記質疑を正とする場合、14階通路、会議室、執務室等の二重床のH寸法もH250と考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>執務室14-7~11、会議室14-4~5、通路14-1はH100とし、それ以外の二重床部はH250としてください。</p>
<p>図番A-007・118・S-110 14階中継室において、仕上表床下地に「F6:コンクリート金鏝」とございますが平面詳細図で「仕上レベルFL±0/スラブレベルFL-150」とあり相違しています。又、構造床伏図では「スラブレベル-250」あり相違しています。床:OAフロア-H250の上タイルカーペットAと考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>よろしいです。</p>
<p>図盤A-007・118 14階給湯コーナー壁仕上において、仕上表壁仕上(化粧けいカル板)と平面詳細図(ビニルクロス)で相違しています。仕上表を正と考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>よろしいです。</p>
<p>図面A-007・204/D-76</p>	<p>A-204 一般部分詳細図-9 を正としてくださ</p>

<p>14階カメラマン席・記者席巾木仕上において、仕上表（PVC H60）と部分詳細図（木巾木H60）で相違しています。部分詳細図を正とし木巾木H60 2-UEと考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>い。 ※木巾木H60 2-UCとしてください。</p>
<p>図面A-007・126 14階カメラマン席・記者席壁仕上において、仕上表（EP-Si）と議場平面詳細図（天然木化粧合板・大小幅板張り）で相違しています。部分詳細図を正とし天然木化粧合板・大小幅板張りと考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>よろしいです。</p>
<p>図番A-007 OAフロアー（一般部）において、特記仕様書に3000N・5000Nとございますが使い分けの図示がございません。ご指示下さい。</p>	<p>執務室1-1を5000Nとし、その他は3000Nとしてください。</p>
<p>図番A-002 コーナーガードにおいて、エレメント図と仕上材料名表示凡例で下記のように相違しております。エレメント図を正と考えて宜しいでしょうか。 ①エレメント図：アルミ L800 ②仕上材料名表示凡例：L1, 600</p>	<p>よろしいです。</p>
<p>図番A-199 一般部分詳細図-4のD-31地下外壁廻り排水の排水溝塗膜防水の仕様をご指示下さい。</p>	<p>X-2としてください。</p>
<p>図番A-002・S-200 地下1階躯体レベルが、地下1階伏図では躯体レベルがFL-400となっておりますが、内部仕上表ではFL-10・-50・-300となっておりますが、床下地は、F15湧水</p>	<p>よろしいです。 水勾配は矩計図1~4を参照ください。</p>

<p>処理層となっています。仕上表で床下地F15の部分は、地下1階伏図を正とし、躯体レベルは、FL-400と考え、内部仕上表の指示のある床下地F15の範囲の床レベルは、FL-210と考えて宜しいでしょうか。</p>	
<p>図番A-04・199 地下二重壁の押出成形セメント板の厚みが下記のように相違しています。特記仕様書を正と考えて宜しいでしょうか。 特記仕様書 t40縦張り 一般部分詳細図 t15横張り</p>	<p>地下駐車場部分：t40縦張り 地下鉄地下連絡通路：t60縦張り 既存地下鉄連絡通路復旧部：t15横張り としてください。</p>
<p>図番A-199 一般部分詳細図-4のD-31地下外壁廻り二重壁に点検口がございますが、仕様・寸法をご指示下さい。</p>	<p>神島化学工業：GRC点検口600×600 606BBB-107・108同等としてください。</p>
<p>参考図05 202/D-56 一般部分詳細図-7 D-56地流しにグレーチング蓋SWQM5532P=18とございますが、商品がございません。SWQM5532P=22に読み替えて宜しいでしょうか。</p>	<p>SWQM5532 P=15としてください。</p>
<p>参考図04 A-048 矩計図-4において、車路スロープ床にアスファルト防水A-1とございますが、特記仕様書 防水工事でA-1は適用になっておりません。矩計図-4を正と考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>よろしいです。</p>
<p>参考図A-201 一般部分詳細図-6 D-51において、排水溝断面図に排水目皿がございます設置場所は、各排水溝・排水柵に1か所と考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>契約後別途協議といたします。</p>

<p>参考図A-201 一般部分詳細図-6 D-51において、排水柵がございますが柵の深さはH90程度と考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>よろしいです。</p>
<p>参考図A-086~089 B1階平面詳細図において、床下地F15湧水処理層部分の室内機械基礎は、嵩上げコンクリートで形成される基礎と考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>よろしいです。</p>
<p>参考図05 202/D-56 特記仕様書石工事に06 笠木甲板等の石張りに石裏面処理の有無がございませんが、一般部分詳細図-7 D-56地流しに御影石の甲板がございます。裏面処理は有りと考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>よろしいです。</p>
<p>図番A-111・161-9 執務室10-5において、平面詳細図-2と10階建具案内図で親子開き戸が以下の様に相違しています。平面詳細図-2を正とし、親子開き戸はパーティションになると考えて宜しいでしょうか。 1) 平面詳細図-2 パーティション 2) 建具キープラン SD-共17</p>	<p>A-161-9 10階・11階建具案内図を正としてください。</p>
<p>図番A-111・161-9 上記質疑に関連して、1)、2)のいずれかの正になる場合の下記の仕様をご指示下さい。 1) が正の場合 パーティションの仕様 2) が正の場合 間仕切りの仕様</p>	<p>LW1+Aとしてください。</p>
<p>図番A-005・100 応接室5-5において、内部仕上表-4の備考に鏡と記載がありますが平面詳細図に鏡の記載がありません。応接室5-5に鏡は不</p>	<p>よろしいです。</p>

要と考えて宜しいでしょうか。	
<p>図番A-005・100</p> <p>上記質疑に関連して、鏡が必要な場合は仕様をご指示下さい。</p>	鏡は不要になります。
<p>参照図A-100・202</p> <p>執務室5-3～5において、D-60の鏡の図示がありますが平面詳細図と一般部分詳細図でH寸法が下記のように相違しています。一般部分詳細図を正とし、下記のように考えて宜しいでしょうか。</p> <p>平面詳細図 H2200 (誤)</p> <p>一般部分詳細図 H1000 (正)</p>	H750としてください。
<p>図番A-060</p> <p>6-13Fひろびろトイレ内の大便器裏及び手洗い器裏にライニングの記載がございますが、ライニング甲板の幅及びライニング高さは下記のように考えて宜しいでしょうか</p> <p>1) 大便器裏：W250 H900</p> <p>2) オストメイト裏： W250 H1200</p> <p>3) 手洗器裏：W150 H1100</p>	<p>下記としてください。</p> <p>1) 大便器裏：W250、H1200</p> <p>2) オストメイト裏：W250 H1200</p> <p>3) 手洗器裏：W200 H1200</p>
<p>図番A-138</p> <p>給湯室・ゴミ置き場に下り天井の記載がございますが、高さが不明です。ご指示下さい。</p>	H=300としてください。
<p>図番A-006・159-5</p> <p>内部仕上表において、通路8-4の壁仕上は化粧鋼板と記載がございますが、展開図に通路8-4の記載がない為、種別が不明です。全て化粧鋼板Aと考えて宜しいでし</p>	A-1078階平面詳細図-2を参照ください。

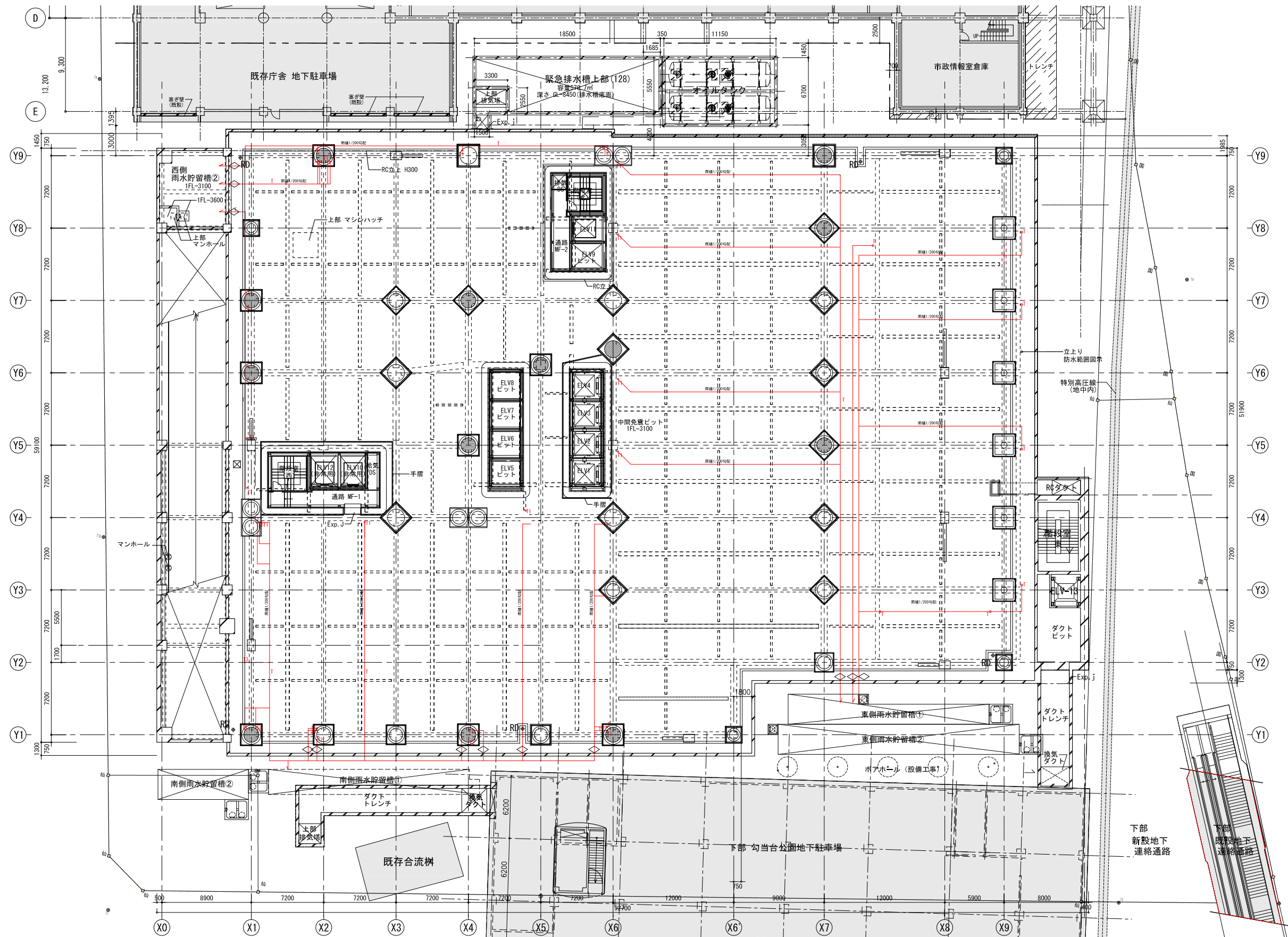
ようか。	
<p>図番A-006・107</p> <p>内部仕上表において、通路8-4の備考欄に手摺は両側と記載がございますが、平面詳細図より、全面（建具面除く）に取り付くと考えて宜しいでしょうか。</p>	よろしいです。
<p>図番A-006</p> <p>内部仕上表において、床下地はF6（F13）と記載がございますが、全面床下地はF13（OAフローア）と考えて宜しいでしょうか。</p>	よろしいです。
<p>図番A-006・107</p> <p>通路8-4の壁下地が下記のように相違しておりますが、平面詳細図を正と考えて宜しいでしょうか。</p> <p>1) 内部仕上表：LW0・4</p> <p>2) 平面詳細図【正】：LW1</p>	よろしいです。
(建具)	
<p>図番A-092・161-3</p> <p>1階建具案内図において控室D面に片開き戸の記載がございますが、建具記号の記載がありません。1階平面詳細図-1において該当する片開き戸の記載が無いため、控室D面の片開き戸は不要と考えて宜しいでしょうか。</p>	よろしいです。
<p>図番A-161-11・162</p> <p>15階建具案内図において、東面（X7/Y3・8）にAG-15F-01の記載が2か所ございますが、建具表にAG-15F-01が見当たりません。AG-15F-01の寸法・仕上等をご指示下さい。</p>	<p>W3300×H440 アルミ B-1</p> <p>ホッパー：st-1.6 裏面グライト吹付 t3.0</p> <p>としてください。</p>
<p>図番A-161-4</p> <p>2階建具案内図においてひろびろトイレ（X4-5/Y7-8）にSD-2F-15の記載がございますが、取付箇所に該当する戸が見当たりません。SD-2F-15は不要と</p>	A-161-4 2階建具案内図を正としてください。

<p>考えて宜しいでしょうか。</p>	
<p>図番A-017・170・172 以下の建具において、W寸法が平面図と建具表で下記のように相違しております。 AW-4F-06・5F-07 平面図：W15,000程度 建具表：W1,800 建具表より、W1,800（7か所：W12,600）と考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>よろしいです。</p>
<p>図番A-161-3 1階建具案内図において、SD-1F-30とSD-1F-30'が重複しておりSD-1F-30'の取り付け箇所が不明です。SD-1F-30'が必要な場合、取付箇所をご指示下さい。 (X7'-9/Y8-9 バス待合スペース)</p>	<p>A-161-3 1階建具案内図を参照ください。 ※SD-1F-30'は、SD-1F-30（常開防火戸）の開口部に設置する自動扉です。</p>
<p>図番A-161-11・175 15階建具案内図において通路15-5（X2-3/Y3-4）にSD-15F-26がございますが、取り付け箇所が不明です。こちらのSD-15F-26が必要な場合、取付箇所をご指示下さい。（建具表での取付箇所：通路15-5 EPS）</p>	<p>A-175 建具表-14を参照ください。</p>
<p>図番A-172・177 WD-5F-02において建具表にガラスの指示がございますが、姿図記号が額入りではない建具となっております。ガラス欄を正とし、WD-5F-02は額入りの親子開きフラッシュ戸になると考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>A-177 建具姿図-1を正としてください。</p>
<p>図番A-176</p>	<p>A-176 建具表-15を参照ください。</p>

<p>AW-RF-01において、建具表にガラスの記載がございません。AW-RF-01のガラスの種類及び厚をご指示下さい。</p>	<p>※当該建具はガラスなし（アルミパネル）になります。</p>
<p>図番A-161-5・167 3階建具案内図において、SD-3F-18（高圧電気室 Y4/X6-7）に電気錠の記載がございますが、建具表-6ではSD-3F-18に電気錠の指示が無く相違しております。3階建具案内図を正とし、SD-3F-18は電気錠と考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>A-167 建具表-6を正としてください。</p>
<p>図番A-105・161-7・168 7階建具案内図において執務室7-3（Y6/X2-3）にSD-共17と指示がございますが、建具形状と寸法が下記のように相違しております。 SD-共17：親子開きフラッシュ戸 W1, 200 指示のある建具：両開き戸 W1, 800 他の執務室に倣い、7階建具案内図の建具番号を正とし執務室7-3の戸はW1, 200の親子開きフラッシュ戸になると考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>よろしいです。</p>
<p>図番A-162・163 下記の建具は、扉面にタイル接着貼りとなっています。扉の小口、裏面はSOP塗と考えて宜しいでしょうか。 ・SD-B2F-02~04 ・SD-1F-01・04・07~13・ 15・16~18・34</p>	<p>よろしいです。</p>

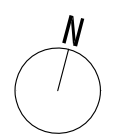
・SD-2F-06~10・13・14・ 16~18	
------------------------------	--

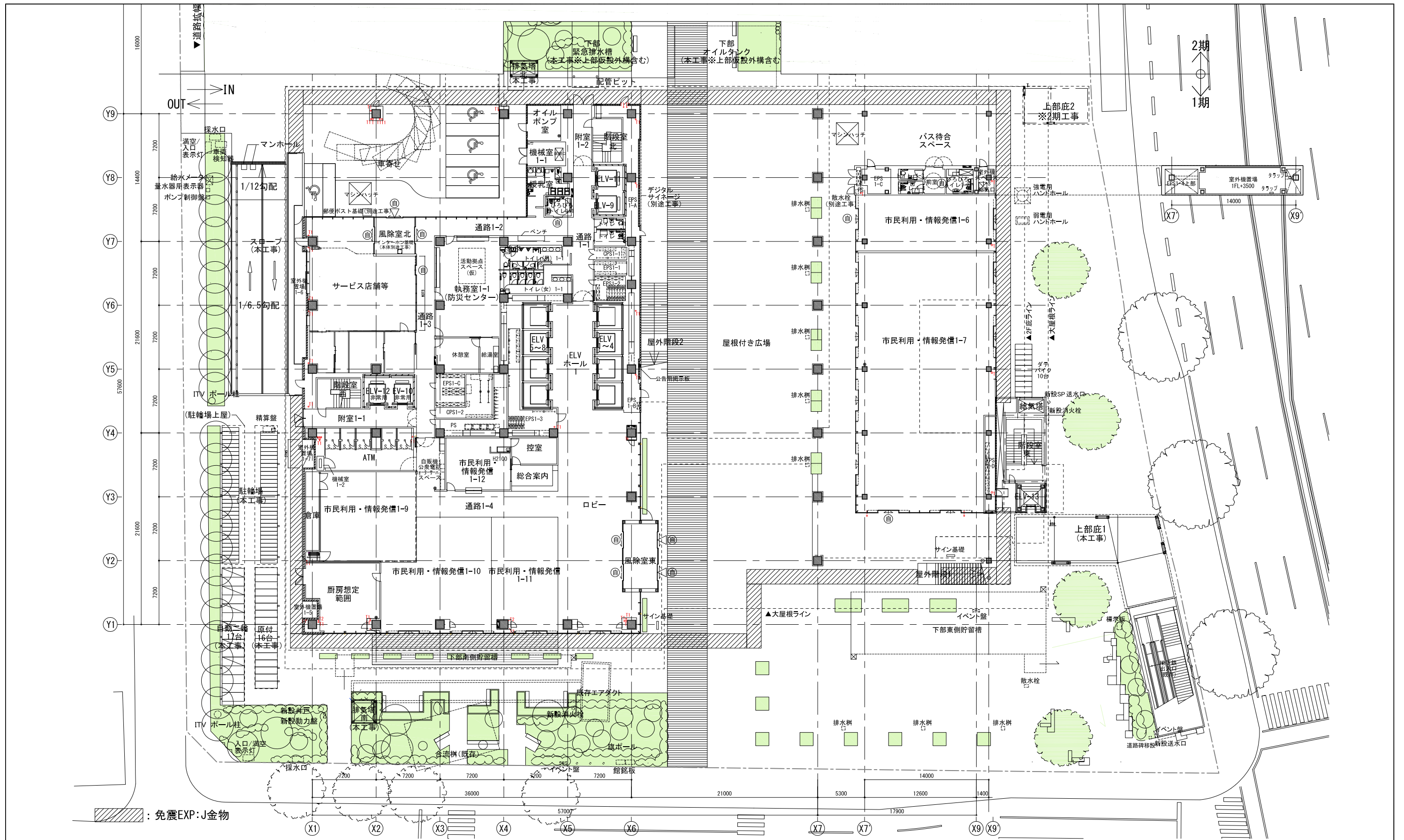
注1 この質疑応答書は、設計図書等に対して質問がある場合（見積りに必要な事項に限る。）に提出してください。会社名を記入する必要はありません。



中間免震層平面図

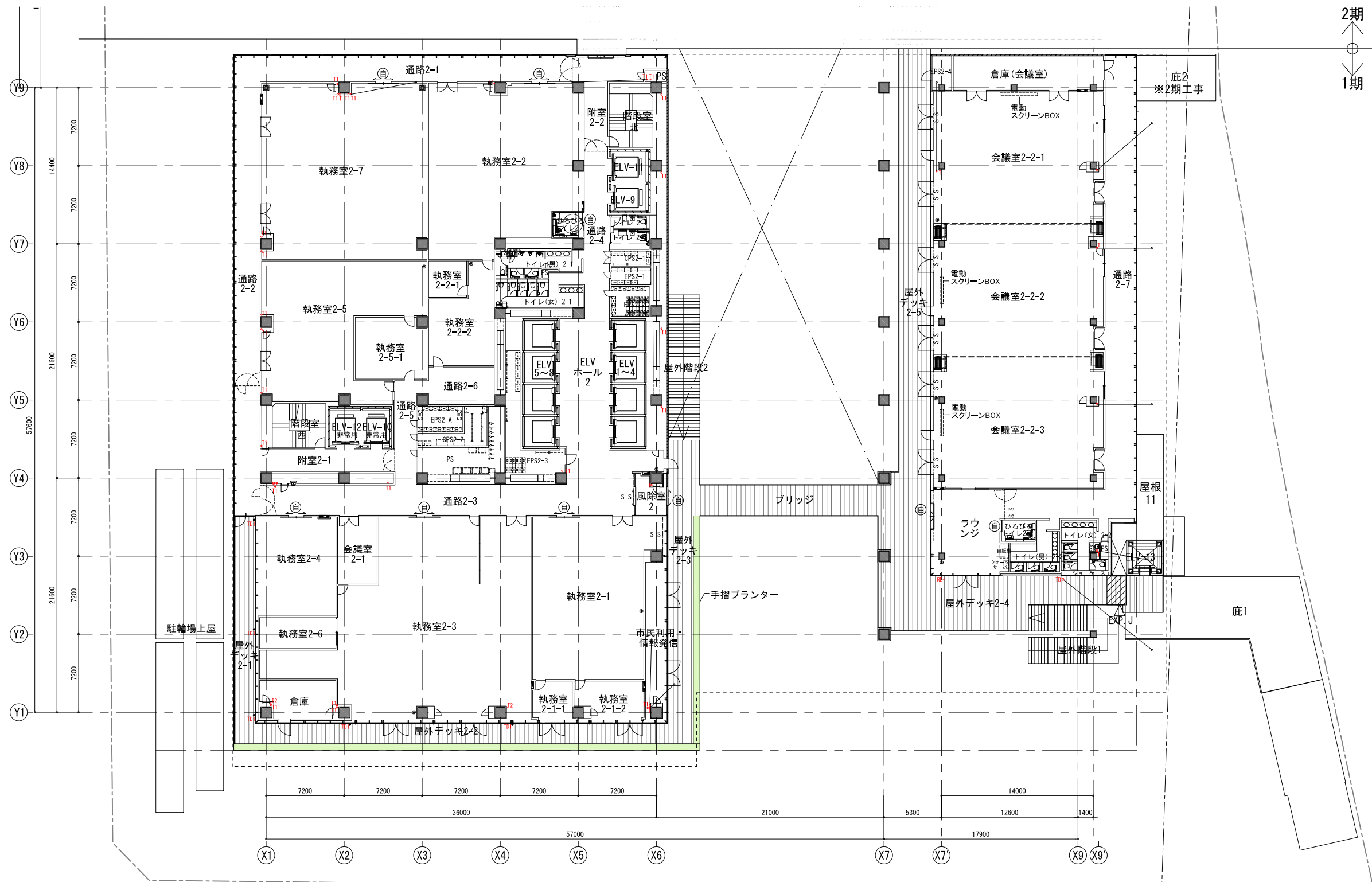
記号凡例	ステンレス製タラップ	自動扉
■ 壁埋込型消火器BOX	オーバーフロー管	消火器スタンド (別途工事)
T 壁種 特記無き場合200φ (外部)・200φ (内部)	田 [受] 種受石 (横走り部はφ600設置)	■ 室内消火栓 ▲ (は消火器BOX付) (別途工事)
T1・TD1 壁種 アルミ製165φ TD: + 鋼鉄製中継ドレイン	RD 鋼鉄製引込ドレイン (既製品) 特記無き場合200φ	+
T2・TD2 壁種 アルミ製114φ TD: + 鋼鉄製中継ドレイン	RD1 鋼鉄製引込ドレイン (既製品) 75φ	⊠ 化粧蓋付マンホール (防臭タイプ) 600角SUSタラップ付
T3・TD3 壁種 アルミ製99φ TD: + 鋼鉄製中継ドレイン	RD2 鋼鉄製引込ドレイン (既製品) 100φ	⊠ 鋼鉄製マンホール 600φ (防臭タイプ) SUSタラップ付
種凡例右記の※マークは元元にて雨水開放を示す	RD3 鋼鉄製引込ドレイン (既製品) 150φ	◇ 雨水管免震継手





1階平面図

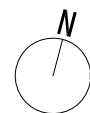
記号凡例	記号	説明
■	ステンレス製タラップ	自動扉
□	ステンレス製タラップ	消火器スタンド (別途工事)
○	オーバーフロー管	屋内消火栓 ▲は (消火器BOX付) (別途工事)
T	壁種 特記無き場合200 (外部)・200 (内部)	+
T1・TD1	壁種 アルミ製165 TD・鉄製中継ドレイ	RD
T2・TD2	壁種 アルミ製114 TD・鉄製中継ドレイ	RD1
T3・TD3	壁種 アルミ製90 TD・鉄製中継ドレイ	RD2
種凡例右記の※マークは足元にて雨水開放を示す	RD3	鉄製中継ドレイ 150



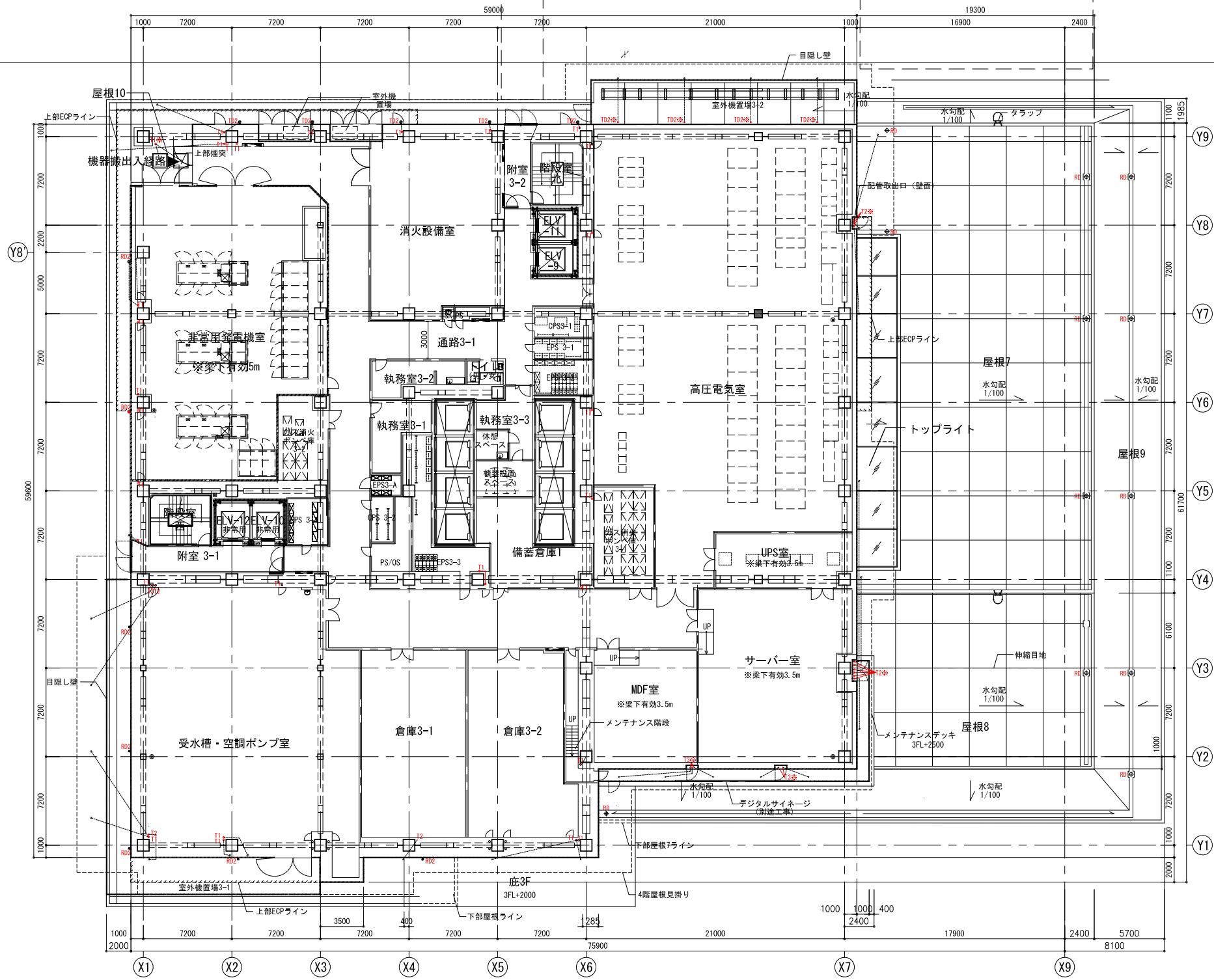
2階平面図

記号凡例	記号	説明	記号	説明
■	埋込型消火器BOX	ステンレス製タラップ	Ⓜ	自動扉
T	壁種 特記無き場合200・(外部)・200・(内部)	オーバーフロー管	Ⓜ	消火器スタンド (別途工事)
T1・TD1	壁種 アルミ製165・TD: + 鉄製中継ドレイ	Ⓜ 受石 (機走リ部は@600設置)	Ⓜ	屋内消火栓 ▲ は (消火器BOX付) (別途工事)
T2・TD2	壁種 アルミ製114・TD: + 鉄製中継ドレイ	RD 鉄製縦引M-Fドレン N付77 (既製品)特記無き場合200φ	+	丸扉
T3・TD3	壁種 アルミ製99・TD: + 鉄製中継ドレイ	RD1 鉄製縦引M-Fドレン N付77 (既製品)75φ	Ⓜ	化粧蓋付マンホール (防臭タイプ) 600角SISタラップ付
		RD2 鉄製縦引M-Fドレン N付77 (既製品)100φ	Ⓜ	鉄製マンホール 600φ (防臭タイプ) SUSタラップ付
		RD3 鉄製縦引M-Fドレン N付77 (既製品)150φ		

種凡例右記の※マークは足元にて雨水開放を示す



2期
1期



記号凡例	記号	説明
■	埋込型消火器BOX	埋込型消火器BOX
T	壁鏡	特記無き場合200φ(外部)・200φ(内部)
T1・TD1	壁鏡	アルミ製165φ TD: 鋼鉄製中継ドレイン
T2・TD2	壁鏡	アルミ製114φ TD: 鋼鉄製中継ドレイン
T3・TD3	壁鏡	アルミ製99φ TD: 鋼鉄製中継ドレイン
○	ステンレス製タラップ	ステンレス製タラップ
OF	オーバーフロー管	オーバーフロー管
田	礎受石	(礎受石) 礎受石φ600設置
RD	鋼鉄製引込パイプ	鋼鉄製引込パイプφ100φ (既製品) 特記無き場合200φ
RD1	鋼鉄製引込パイプ	鋼鉄製引込パイプφ75φ (既製品)
RD2	鋼鉄製引込パイプ	鋼鉄製引込パイプφ100φ (既製品)
RD3	鋼鉄製引込パイプ	鋼鉄製引込パイプφ150φ (既製品)
⊕	丸環	丸環
⊗	化粧蓋付マンホール	(防臭タイプ) 600角SISタラップ付
⊙	鋼鉄製マンホール	600φ (防臭タイプ) SISタラップ付

種凡例右記の※マークは足元にて雨水開放を示す



3階平面図

質 疑 応 答 書

工事名 仙台市役所本庁舎整備第 1 期 建築工事

質 問 事 項	整理番号	2 3 0 5 1 0 5 9 5
	回 答	
<p>① 仮設計画図について</p> <p>A-503 仮設計画図において揚重機や足場について期間が指定数量として記載されていますが、仕様や設置期間が指定数量から変更となった場合には増減の対象になると考えてよろしいでしょうか。ご指示ください。</p>	<p>よろしいです。</p>	
<p>② 山留・構台計画図について</p> <p>A-509 山留・構台計画図の山留杭材料表に（参考）とありますが、山留壁の工法を変えなければ施工方法は各社の計画によると考えてよろしいでしょうか。ご指示ください。</p>	<p>よろしいです。</p>	
<p>③ 山留・構台計画図について</p> <p>A-420 の撤去汚染土分布図について処分汚染土量の記載がありますが、調査は別途と考えて宜しいでしょうか。ご指示ください。</p>	<p>よろしいです。</p>	

<p>④ 土木工事 設計書「内 13号」について 土木工事－仮設工－既設親杭引抜工－ オーガケーシング工法－材料費 H-300× 300×10×15 2.6t の箇所ですが、これ は土中に埋まっていた親杭なので、中間 処理施設に運搬処分するという考え方 でよろしいでしょうか。ご指示くださ い。</p>	<p>鋼材の材料費を計上しております。工事価格 の算出につきましては、設計図書により積算 をお願いいたします。設計図書と施工条件が 一致しない場合は、設計変更協議の対象とい たします。</p>
<p>⑤ 土木工事 設計書「単 37号」について 土木工事－下水道－管路土留工－軽量 鋼矢板土留 掘削深：3.5m 以下、軽量 鋼矢板型式：2型 37m の箇所ですが、 軽量鋼矢板建込工及び軽量鋼矢板引抜 工（両側分）掘削深 3.0m 以下と内訳に 記載がございます。 掘削深はどちらが正しいのでしょうか。 ご指示ください。</p>	<p>軽量鋼矢板建込工及び軽量鋼矢板引抜工（両 側分）掘削深 3.0m 以下とし積算しておりま す。工事価格の算出につきましては、設計図 書により積算をお願いいたします。設計図書 と施工条件が一致しない場合は、設計変更協 議の対象といたします。</p>

注 1 この質疑応答書は、設計図書等に対して質問がある場合（見積りに必要な事項に限る。）に提出してください。会社名を記入する必要はありません。

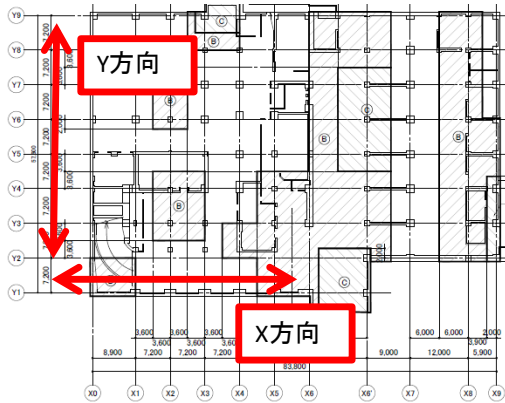
質 疑 応 答 書

工事名 仙台市役所本庁舎整備第 1 期 建築工事

質 問 事 項	整理番号	2 3 0 5 1 0 5 9 5
	回	答
(構造関連)		
(本庁舎)		
図面 A-420・509-1 土工事の掘削開始レベルについて、撤去汚染土分布図より現状地盤 TP+44.98 とありますが、山留・構台計画図では着工時地盤高さ TP+45.50 とございます。掘削開始レベルは TP+44.98 からと考えて宜しいでしょうか。		よろしいです。
図番 S-1 特記仕様書-1 の 3 土工事において、埋戻し及び盛土の種別が A 種と B 種両方に適用印が付いておりますが、A 種の方と考えて宜しいでしょうか。		緊急排水槽・歩道切下は B 種で設計しております。その他は全て A 種で設計しております。
図番 S-1・A-001 構造特記仕様書-1 の 5-2 において、防水押えコン内の溶接金網が φ3.2-100×100 とございますが、仕上特記仕様書の 16 特記事項【躯体工事】では φ6.0-100×100 とあり相違しております。 φ6.0-100×100 を正と考えて宜しいでしょうか。		よろしいです。

図番S-301

マットスラブリストにおいて、マットスラブX方向及びY方向とありますが、主筋方向はそれぞれ下図の方向と考えて宜しいでしょうか。



よろしいです。

図番S-1・A-405・408

マットスラブ下の地業が以下のように相違しています。特記仕様書-1を正と考えて宜しいでしょうか。

- ・特記仕様書-1
捨てコン t 50、砕石 t 100
- ・矩計図-1 捨てコン t 150のみ
- ・矩計図-4 捨てコン t 50、砕石 t 60

よろしいです。

図番S-1・A-405

F S 符号スラブ下の地業が以下のように相違しています。特記仕様書-1を正と考えて宜しいでしょうか。

- ・特記仕様書-1
捨てコン t 50、砕石 t 100
- ・矩計図-1 捨てコン t 100、砕石 t

A-045 矩計図-1 (B階~2階南北方向-1) を正としてください。

60	
<p>図番S-301 マットスラブリストにおいて、マットスラブ段差部配筋図のハンチ部に1段筋のみ配筋の記載があります。 段数は位置するスラブと同段数と考えて宜しいでしょうか。</p>	よろしいです。
<p>図番S-301 マットスラブリストにおいて、マットスラブ段差部配筋図に端部下がりの左側詳細において、下がりの幅に『厚い範囲 ($\geq t$)』とございますが、厚い範囲とはマットスラブ厚の事と考えて宜しいでしょうか。</p>	よろしいです。
<p>図番S-301・A-046 マットスラブリストにおいて、マットスラブ段差部配筋図に端部下がりの左側詳細において、端部下がりの範囲は矩計図-2より既存躯体取合部側と考えて宜しいでしょうか。 (Y0/X6-X6' 既存勾当台公園地下駐車場)</p>	よろしいです。
<p>図番S-301・302 RCスラブリストにおいて、FS1500の端部小口面の鉄筋納まりはマットスラブと同様と考えて宜しいでしょうか。 (上・下主筋の定着長さ=スラブ厚、端部側横筋D25@200)</p>	よろしいです。
<p>図番S-102・201・206・210 下記位置のマットスラブレベルが、伏図と軸組図とで以下のように相違しています。 すべて地下1階伏図のレベルを正と考えて宜しいでしょうか。</p>	よろしいです。

<p>・X2/Y4-5 伏図 B1FL-3570、軸組 B1FL-2850</p> <p>・Y8/X5-6 伏図 B1FL-3570、軸組 B1FL-2850</p> <p>・Y5/X5-6 伏図 B1FL-3520、軸組 B1FL-2850</p>	
<p>図番 S-102・A-081</p> <p>地下 2 階伏図において、ELVピットのFSスラブレベルが以下のように相違しています。</p> <p>低層部コア詳細図-3を正と考えて宜しいでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地下 2 階伏図 B2FL-2850 (特記なき限りの1FLをB2FLに読み替え) ・低層部コア詳細図-3 B2FL-1250 	<p>よろしいです。</p>
<p>図番 S-103</p> <p>免震層伏図において、X4/Y3-Y5通りの大梁G31AH及びG32Aは水平ハンチの記載ですが、ハンチ長さが不明です。それぞれ梁長さの3/4と考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>1:6 勾配としてください。 (ハンチ長さ 3900mm)</p>
<p>図番 S-305</p> <p>RC大梁リストのG12Dにおいて、備考に『D16は柱内30mm定着』とありますが、適用鉄筋がございません。</p> <p>備考のコメントは無しと考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>よろしいです。</p>
<p>図番 S-308</p> <p>小梁リストにおいて、B5及びB6の腹筋本数が図示(6本)と記載(3本)とで相違</p>	<p>よろしいです。</p>

<p>しております。</p> <p>図示本数(6本)を正と考えて宜しいでしょうか。</p>	
<p>図番S-103・A-408</p> <p>免震層伏図 X0~X0+6500/Y5~Y8通りのスラブが以下のように相違しています。免振階伏図を正と考えて宜しいでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・免震層伏図 スラブ有り (S200B, S250) ・矩計図-4 スラブ無し 	<p>よろしいです。</p>
<p>図番A-046</p> <p>矩計図-2において、マットスラブ上に水勾配打ち増しコンクリートがあります。水上のHは140程度になります。補強はワイヤーメッシュφ6-100×100と考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>よろしいです。</p>
<p>図番S-308</p> <p>RCスラブリストにおいて、スラブ厚400以上に幅止め筋D10@1000を見込んで宜しいでしょうか。</p>	<p>よろしいです。</p>
<p>図番A-081</p> <p>低層部コア詳細図-3 Y方向断面図において、B1FL-6090 ELVホール及びPS/DS部に床版及び立上りの詳細がありますが下記部位のリストが伏図では不明です。断面詳細をそれぞれ以下のように考えて宜しいでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・床版 S15 ・立上り W200 	<p>下記としてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・床版：S15 ・立上り：W20
<p>図番A-081</p> <p>低層部コア詳細図-3のY方向断面図において、1FL~免震層FL Y2通り外部にダクトトレンチとありますが、下記部位</p>	<p>A-527 新設換気塔排気ダクト部詳細配筋図のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・底盤:FS2 ・床板 FS2

<p>のリストが伏図では不明です。断面詳細をそれぞれ以下のように考えて宜しいでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・底盤 CS250 ・床版 CS250 ・側面塞ぎ壁 EW30 	<ul style="list-style-type: none"> ・側面塞ぎ壁 W35
<p>図番S-105 1階伏図において、X9通り外部（階段室東）スラブ符号が不明です。S200と考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>よろしいです。</p>
<p>図番S-102・302 地下1階伏図のX4/Y9-Y9+2500に壁FW140とありますが、地下外壁リストに詳細が見当たりません。 厚1400・配筋はFW130に倣っても宜しいでしょうか。</p>	<p>よろしいです。</p>
<p>図番S-105 1階伏図のX9+5000/Y3-Y4通りにW56とありますが、地下外壁リストに符号が見当たりません。 W56では無くW50に読み替えても宜しいでしょうか。</p>	<p>よろしいです。</p>
<p>図番S-304・304A 柱リスト 特記外に『柱頭部は～定着板を使用～』とあります。積算上は、機械式定着は無しと考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>よろしいです。</p>
<p>図番S-304 RC柱リストにおいて、梁仕口部にも中子筋は必要と考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>よろしいです。</p>
<p>図番S-10・304A 柱とマットスラブの鉄筋納まりについて、</p>	<p>よろしいです。</p>

<p>以下のように考えて宜しいでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・柱主筋の定着長さ：マットスラブ天端を起点としL2定着 ・マットスラブ内の柱フープ筋：不要 ・SRC柱リスト 側柱埋込み柱脚L型補強筋要領よりコ型補強筋は必要 	
<p>図番S-304・304A・309 柱と柱頭の免震基礎の納まりについて、以下のように考えて宜しいでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・柱主筋の定着長さ：免震基礎下端を起点としL2定着 ・免震基礎内の柱フープ筋：不要 	<p>S-10 RC 標準図-3 の 6,7 に記載の柱・梁定着の納まりを参考の上、免震基礎リストの鉄筋を納めてください。</p>
<p>図番S-309 免震基礎リストにおいて、腹筋の鉄筋径及び間隔が備考に記載のあるMF130AとMF140Bを除き不明です。 基礎主筋と同径同間隔と考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>よろしいです。</p>
<p>図番S-309 免震基礎リストの断面図において、基礎主筋の立上げ長さが不明です。15d程度と考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>S-9 RC 標準図-2 の 4.基礎を参照ください。 (20d としてください。)</p>
<p>図番S-105・A-045 1階伏図の特記なき2番のスラブ天端レベルにおいて、CS17E（外周片持ちスラブ）が1FL+220とございますが、意匠矩計図より内部側の床レベルと同レベルと考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>よろしいです。</p>
<p>図番S-111 R階伏図の特記なき2番のスラブ天端レベルにおいて、S20Cが2つあり2つ共、同レベルですが、斜線の方はスラブ天端レベルRFL+1400・梁天端レベルRFL+1200と考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>シンダーコン天端レベルがRFL+1400のため、スラブ天端レベル RFL+1300・梁天端レベル RFL+1100 としてください。</p>

<p>図番S-111・A-347-5 PH1階伏図において、外周廻りのスラブはS15とございますが、意匠PCA割付図-5ではフルPCとなっております。 フルPCを正と考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>よろしいです。</p>
<p>図番S-205 Y7+5300通り軸組図において、梁レベルが伏図と相違しております。(階高とのレベルがズレているようです) 伏図のレベルを正と考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>よろしいです。</p>
<p>図番S-308 RCスラブリストにおいて、型枠欄に普通型枠またはフラットデッキとございますが、すべてフラットデッキと考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>RC・SRC部は普通型枠、S部はフラットデッキとします。</p>
<p>図番S-308 片持ちスラブリストにおいて、CS17EとCS20Aは普通型枠またはフラットデッキとございますが、使用箇所は1階伏図の外周部で出幅もある為、普通型枠と考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>よろしいです。</p>
<p>図番S-308 持ち上げスラブ詳細図において、≥ 300段差はBT鋼とございますが、鉄骨標準図-2の4より200を超える段差はBT鋼使用と考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>よろしいです。</p>
<p>図番S-401 西側EV詳細図において、B1FL+1950伏図にスラブ符号S15とございますが、伏図では開口ですのでスラブは無しと</p>	<p>よろしいです。</p>

<p>考えて宜しいでしょうか。</p>	
<p>図番S-401 中央1EV詳細図の基礎下端伏図において、スラブ符号が伏図S30と特記なきS15とで相違しておりますが、S30を正と考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>よろしいです。</p>
<p>図番S-401 中央1EV詳細図において、B1FL+1975伏図にスラブ符号S15・免震層伏図にスラブ符号S20とございますが、伏図では開口ですのでスラブは無しと考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>よろしいです。</p>
<p>図番S-402 北側EV詳細図の基礎下端伏図において、スラブ符号が伏図S25と特記なきS15とで相違しておりますが、S25を正と考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>よろしいです。</p>
<p>図番A-182~187-5 建具詳細図，矩計図にRC立上り及び下り壁がございます。厚さはt300程度まで（t120，t180，t260等）ありますが、配筋は下記の配筋及び壁符号に倣って宜しいでしょうか。 又、先端補強筋の鉄筋径は使用鉄筋の1段上と考えて宜しいでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ t < 150 縦・横D10@200シングル 先端1-D13 ・ 150 < t ≤ 160 W160 ・ 160 < t ≤ 200 W200 ・ 200 < t ≤ 250 W250 ・ 250 < t ≤ 300 W300 	<p>よろしいです。</p>

<p>図番A-197 一般部分詳細図-2に柱根巻きがありますが、配筋は以下のように考えて宜しいでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主筋 D19@200 ・フープ筋 D13@100 ・頂部横筋 D13@200 	<p>下記としてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主筋 D16@200 ・フープ D10@100 ・頂部横筋 D10@200
<p>図番A-344 免震装置耐火被覆詳細図において、免震装置上部にコンクリートの図示がございます。</p> <p>コンクリート強度$F_c 18 \cdot S L 15$、コン内溶接金網$\phi 6 - 100 \times 100$と考えると宜しいでしょうか。</p>	<p>よろしいです。</p>
<p>図番S-418 梁貫通スリーブリストにおいて、B1階はSRC梁に取付くスリーブと思われませんが、既製品による補強と考えると宜しいでしょうか。</p>	<p>よろしいです。</p>
<p>図番S-418 梁貫通スリーブリストにおいて、1~3階の高層棟と低層棟の振り分けは、高層棟75%・低層棟25%程度の割合で振り分けて宜しいでしょうか。</p>	<p>よろしいです。</p>
<p>図番A-001・049・055 仕上特記仕様書の15耐火被覆の表において、耐火塗料は議場上部トラスとございますが、その他に矩計図-5のトップライト部梁や矩計図-11の外部露出鉄骨柱・梁も耐火塗料と考えると宜しいでしょうか。</p>	<p>よろしいです。</p>
<p>図番S-2</p>	<p>外周部は非加硫フェノール系 t6 W200 鉄板入り</p>

<p>特記仕様書-2の14止水板において、意匠図参照とありますが、意匠図では仕様の記載が見当たりません。</p> <p>スパンシール6×200程度と考えると宜しいでしょうか。</p>	<p>とし、Exp. j 部はゴム製既製品 t6 W200 センターバルブ型としてください。</p>
(付帯施設)	
<p>図番S-416・417</p> <p>キャノピー基礎・駐輪場基礎・オイルタンク・緊急排水槽のコンクリート強度は、本体に倣い Fc30・S18 (高性能AE減水剤) と考えると宜しいでしょうか。</p>	<p>駐輪場基礎は Fc21・S15 になります。その他は Fc30・S18 になります。</p>
<p>図番S-416</p> <p>キャノピーの鉄骨柱及び大梁に耐火被覆又は耐火塗料は不要と考えると宜しいでしょうか。</p>	<p>露出柱は耐火塗料(1時間)、梁はロックウール吹付け t25 としてください。</p>
<p>図番S-416・A-195</p> <p>駐輪場基礎リストにおいて、基礎F1下の地業が図面により相違しています。再生砕石 t60、捨てコン t50 と考えると宜しいでしょうか。</p>	<p>よろしいです。</p>
<p>図番S-416・A-195</p> <p>意匠駐輪場断面図において、基礎配筋が D16@150 とございますが、構造基礎リストでは D16@200 となっており相違しております。構造リストを正と考えると宜しいでしょうか。</p>	<p>よろしいです。</p>
<p>図番S-416・A-195</p> <p>意匠駐輪場断面図において、基礎上に増打 t70~100 とございますが、補強筋は不要と考えると宜しいでしょうか。</p>	<p>よろしいです。</p>
<p>図番S-417・A-190</p>	<p>よろしいです。</p>

<p>オイルタンク・緊急排水槽において、底盤と土圧壁のコンクリート打継部に止水板（スパンシール6×200程度）は必要と考えて宜しいでしょうか。</p>	
<p>図番S-417・A-190 オイルタンク・緊急排水槽において、水槽上部のスラブ厚さが構造図（t400）と意匠図（t300）とで相違しております。構造図を正と考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>よろしいです。</p>
<p>図番S-417 オイルタンク・緊急排水槽の土圧壁リストにおいて、縦筋下端と中央と上部、横筋端部と中央、それぞれ配筋の適用範囲は下記のように考えて宜しいでしょうか。 ・縦筋上端，下端：h o （上床下端～底盤天端）／4 ・横筋端部：h o（壁の内法寸法）／4</p>	<p>よろしいです。</p>
<p>図番S-417 土圧壁リストにおいて、W20、W25、FW30A、FW60Aの縦筋外側下端筋ピッチ@100となっておりますが、立上り壁ですの中央・上端と同様@200と考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>@100としてください。</p>
<p>図番S-417 オイルタンク・緊急排水槽のB1階伏図にW30がありますが、土圧壁リストにございません。縦横D16@200ダブルと考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>よろしいです。</p>
<p>図番S-417 オイルタンク・緊急排水槽の土圧壁リストにおいて、FW60Aの厚さが450とございますが、厚600と考えて宜しいでし</p>	<p>よろしいです。</p>

<p>ようか。</p>	
<p>図番S-417 各伏図の部材符号が、リストと相違しております。下記のように考えて宜しいでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・FS60→FS60A ・FW25→W25 ・FW60→FW60A ・G40→B40A 	<p>よろしいです。</p>
<p>図番S-417 オイルタンクのB1階伏図において、スラブ天端レベルがB1FL+1400とございますが、断面図ではB1FL+2400と思われれます。断面図のレベルを正と考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>よろしいです。</p>
<p>図番S-417 オイルタンクと緊急排水槽との隙間がt1000ございますが、スタイロフォーム充填するものと考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>よろしいです。</p>
<p>(外構撤去)</p>	
<p>図番A-517 標識の詳細図がございしますが、撤去案内図に標識撤去の記載が見当たりません。標識は1か所撤去と考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>1箇所移設です。(A-501 図 仮設計画図-1 参照)</p>
<p>図番A-517 RC立上り詳細図(W180)がございしますが、撤去案内図に地盤差のあるRC立上り撤去は見当たりません。無しと考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>よろしいです。</p>

注1 この質疑応答書は、設計図書等に対して質問がある場合（見積りに必要な事項に限る。）に提出してください。会社名を記入する必要はありません。